2026年5月発行

HORIBA

Corporate Profile

株式会社堀場製作所
コーポレートプロファイル

Joy and Fun for All

おもしろおかしくをあらゆる生命へ

株式会社堀場製作所

HORIBA 日本サイト
www.horiba.co.jp

HORIBA Globalサイト
www.horiba.com

日本サイト

Global サイト

HORIBA Report （統合報告書）

Our Future 特設サイト

HORIBA Talk

HORIBAグループソーシャルメディア公式アカウント一覧
・LinkedIn ・YouTube ・X(旧Twitter) ・Facebook

国内グループ会社

株式会社堀場エステック
〒601-8116
京都市南区上鳥羽鉾立町11-5
www.horiba.com/jpn/semiconductor/

株式会社堀場アドバンスドテクノ
〒601-8551
京都市南区吉祥院宮の東町2
www.horiba.com/jpn/water-liquid/

株式会社堀場テクノサービス
〒601-8305
京都市南区吉祥院宮の東町2
www.horiba.com/jpn/service/

HRA-2026A

printed in Japan 2605SM33

多様な顧客ニーズと技術を有機的に結合して創出する

HORIBAの「ほんまもん」のソリューション

HORIBAの「はかる」技術は、電気化学を使用したpHメーターに始まり、赤外線やX線などを用いた様々な分析・計測技術を蓄積しながら、液体、気体、固体へと分析対象を拡大しました。分析・計測技術に加え、制御の技術も展開しています。
保有するコア技術から生み出されるソリューションと、お客様のご要望に柔軟にお応えする高度なサンプルハンドリングやオートメーション、データマネジメント、データサイエンスの技術を活かし、変化する市場ニーズを捉えます。
HORIBAが注力する3フィールドにおける顧客ニーズに対して、グローバルに培ってきたコア技術を有機的に結合して、独自のソリューションを創出し、社会課題の解決に貢献します。

HORIBAのコア技術

赤外線計測
赤外光を用いて気体中成分をリアルタイムに分析する技術

エンジン排ガス測定装置

元素分析装置

サンプルハンドリング
測定対象を分析・計測できる状態にする技術

流体制御
流体の流量を瞬時かつ高精度に測定・制御する技術

定容量希釈サンプリング装置

煙道排ガス分析装置

オートメーション
サンプルハンドリング・測定及びデータ解析・出力を自動で行う技術

マスフローコントローラー

大気汚染監視用分析装置

粒子計測
粒子(径・数・重さ・成分など)を測定する技術

ナノ粒子径分布・濃度測定装置

自動血球計数装置

分光分析
紫外光、可視光、近赤外光を用いた分光分析技術

分光エリプソメーター

薬液濃度モニター

ラマン分光分析装置

蛍光吸光分光装置

液体計測
液体中の成分(pH、ナトリウム、酸・アルカリ、グルコースなど)を測定する技術

水質計測装置

血糖値検査装置

データサイエンス
測定データを解析して物理量・状態に関する情報を可視化する技術

データマネジメント
測定条件・取得データ・解析結果の整合やトレンドを監視し、可視化する技術

コア技術と顧客ニーズが有機的に結合して、独自のソリューションを創出

HORIBAが注力する3つのフィールド

エネルギー・環境

注力分野

- 次世代車両開発
- 排ガス認証用評価
- 水電解装置や燃料電池の評価
- 水質・ガスの計測・モニタリング

バイオ・ヘルスケア

注力分野

- 血球計数や生化学用検査などの検体検査
- 医薬品の開発・製造・品質管理
- 飲食料品・化粧品及びスキンケア関連プロセス

先端材料・半導体

注力分野

- 半導体製造プロセス制御・モニタリング
- ファシリティ管理・制御
- 先端材料の開発・生産・品質管理・量産化サポート

HORIBAの歴史と企業文化

社是「おもしろおかしく」

この社是には、常にやりがいをもって仕事に取り組むことで、人生の一番良い時期を過ごす会社での日常を自らの力でおもしろおかしいものにし、健全で実り多い人生にしてほしい、という前向きな願いが込められています。英語では「Joy and Fun」と訳され、世界中のホリバリアン※たちにも大切に共有されています。

Omoshiro-okashiku
Joy and Fun

おもしろおかしく

※HORIBAでは社員のことを「ホリバリアン」と呼び、大切な財産と考え、「人財」と表現しています。

Our Future（ビジョン、ミッション、バリュー）

2023年に創立70周年を迎えたHORIBAグループでは、創立100周年を迎える30年後の未来を見据え、どのような会社でありたいか、そこで働くホリバリアンはどのような人財※であるべきかや、社会に対してどのような貢献ができるのかを世界中のホリバリアンと共に議論を重ね、2024年にグループ共通の「Our Future」（ビジョン、ミッション、バリュー）を制定しました。
社是「おもしろおかしく」のもと、これまで培った「ほんまもん」の技術と多様性に満ちたチームの力で、お客様や社会から必要とされる企業として持続的な成長をめざします。

Our Vision
おもしろおかしくをあらゆる生命へ
Joy and Fun for All

Our Futureの実現に向けてHORIBAが注力する3つのフィールド
Energy & Environment / Bio & Healthcare / Materials & Semiconductor

Our Mission
ほんまもんと多様性を礎にソリューションで未来をつくる
Shape our future with solutions based on HONMAMON and Diversity

Our Values
チャレンジ精神 Spirit of Challenge
誠実と信頼 Reliability and Trust
卓越の追求 Pursuit of Excellence

社是
おもしろおかしく

ベンチャー精神

1945年、創業者の堀場雅夫が学生ベンチャーとして立ち上げた「堀場無線研究所」がHORIBAの原点です。戦後の物資供給が乏しいなかで創意工夫しながら独自技術の開発に挑んできた先人たち。そのチャレンジ精神は脈々と受け継がれ、革新的な技術や製品・サービスの創出に挑戦し続けてきたことで、最先端技術開発を支える高度な「はかる」技術をグローバルに提供する企業へと成長しました。ホリバリアン一人ひとりがオーナーシップと熱いベンチャースピリットをもち、失敗を恐れずに挑戦し続けることこそがHORIBAの原動力であり、その精神は人事制度における「加点主義」にも表れています。

自動車排ガス測定装置の世界ブランド「MEXA」の誕生

独自のグローバル経営

HORIBAの強みの一つ、強力なグローバルネットワークを支えるのは、それぞれの現場で働く「人」です。「おもしろおかしく」働くことで従業員の無限の能力を引き出し、それを会社の推進力にしていく。このフィロソフィーを伝えるとともに、現地の文化を尊重した組織づくりやFace to Faceコミュニケーションを重視する独自のグローバルオペレーションにより、互いに寄り添い信頼できる関係構築に努めてきました。その結果、グループとしての一体感を高め、力強い相乗効果を生み出すことに成功しています。

グループ会社幹部が一堂に会するグローバル経営会議を年2回開催

現場と経営をつなぐ意識と行動の変革
ブラックジャックプロジェクト

「従業員の意識と行動の変革」を目的として、1997年に「ブラックジャックプロジェクト」を開始しました。2006年には海外グループ会社にも活動を展開。毎年12月に、世界中の拠点から選ばれた代表が一堂に会して最優秀テーマを決める「BlackJack Award World Cup」を開催しており、経営陣に対して直接おもいを伝えることができるコミュニケーションの場にもなっています。テーマは業務効率の改善やコスト削減に加え、人財育成や組織力の強化など多岐にわたり、従業員自らが改革に取り組む企業文化形成の礎となっています。

BlackJack Award World Cup の様子

多様な人財が働きやすい会社へ
ダイバーシティの推進

グローバルな事業や市場の多様性を強みとするHORIBAを支えているのは、現場で活躍する従業員一人ひとりです。社会の変革が加速するなか、性別・年齢・国籍・障がいなどを乗り越えて多様な個性・才能を発揮できる風土を継承していくことが、新たな価値創造と強いHORIBAの実現につながると考えています。経営と現場の従業員、人事部門を有機的につなぎ、働き方やキャリアを考えるワークショップ、他社交流による意識改革、勤務時間や勤務地の柔軟性を高める制度導入などを推進しています。

多様な人財がともに成長・活躍する環境づくり

HORIBAのあゆみ

京都の小さな町工場から始まったHORIBAは、今日まで科学技術の発展に寄与する分析・計測技術の探求と独自の製品・ソリューション開発に真摯に取り組んできました。世界中から社是「おもしろおかしく」や創業の精神に共感する多くの仲間が集まり、多様な人財が色とりどりに輝くグローバル企業へと成長してきました。創業当時よりオンリーワンをめざして培ってきた「ほんまもん」の分析・計測技術は、幅広い分野の技術開発や製造現場を支え、生命や地球環境の安心・安全に貢献しています。
次なる時代に向けて、これからも変わることなく独自の技術を磨き上げていきます。

企業・事業買収の変遷

1996 仏 ABX社（現 ホリバABX社）

2005 独 カールシェンク社の自動車関連計測事業部門

2018 独 FuelCon社（現 ホリバ・フューエルコン社）

2019 米 MANTA社（ホリバ・インスツルメンツ社に統合）

2021 独 BeXema社（現 ベキシマ社）

2023 米 Process Instruments社（ホリバ・インスツルメンツ社に統合）

2026 印 Pristine Deeptech Private Limited

1997 仏 ジョバンイボン社（現 ホリバ・フランス社）

2015 英 MIRA社（現 ホリバMIRA社）

2019 独 TOCADERO社（現 ホリバ・トカデロ社）

2021 米 MedTest HD社（ホリバ・インスツルメンツ社に統合）

2023 仏 Tethys社（現 堀場アドバンスドテクノ・フランス社）

2025 韓 EtaMax社（堀場エステック・コリア社に統合）

2026 豪 Australian Scientific Pty. Limited（ホリバ・オーストラリア社に統合）

1945 堀場無線研究所 創業

1950 国産初のガラス電極式pHメーターが完成

1953 堀場製作所 設立

1970 米国に合弁会社設立、海外展開スタート

1974 スタンダード

1975 コスモ

1978 テクノロジ（現 堀場エステック）設立
（現 堀場アドバンスドテクノ）設立
社是「おもしろおかしく」制定

1992 M&Aで事業拡大

1996 仏 ABX社買収（現 ホリバABX社）

1997 仏 ジョバンイボン社買収（現 ホリバ・フランス社）

2000 堀場テクノサービス設立

2005 独 カールシェンク社の自動車関連計測事業部門 買収

2015 英 MIRA社買収（現 ホリバMIRA社）

2018 創立70周年記念式典

2023 グループのOur Future（ビジョン、ミッション、バリュー）を制定

2024

初代社長 堀場 雅夫
2代目社長 大浦 政弘
3代目社長 堀場 厚（2018年からは代表取締役会長兼グループCEOに就任）
4代目社長 足立 正之

世界に拡がるネットワーク（2025年12月31日現在）

主な開発・生産拠点

HORIBAは1970年の米国での合弁会社設立を機に本格的な海外展開をスタートさせました。その後も積極的なM&Aを通じて、アジア・米州・欧州に数多くの開発・生産拠点などのネットワークを拡げています。現在のグループ会社数は47社（国内4社含む）、海外売上比率は77%、海外で働く従業員は64%に及びます。

Japan
日本

堀場製作所 本社

堀場製作所 びわこ工場
HORIBA BIWAKO E-HARBOR

堀場テクノサービス 本社
堀場アドバンスドテクノ 本社

堀場エステック 本社
堀場製作所 HORIBA最先端技術センター

堀場エステック 京都福知山工場

堀場エステック
京都福知山テクノロジーセンター

堀場エステック 阿蘇工場

Europe
ヨーロッパ

イギリス

ホリバMIRA社 ASSURED CAV

フランス

ホリバABX社

ホリバ・フランス社
ホリバヨーロッパリサーチセンター

ドイツ

ホリバ・フューエルコン社 HORIBA eHUB

Asia
アジア

インド

ホリバ・インド社 テクニカルセンター

ホリバ・インド社 ナグプール工場

マレーシア

ホリバ・マレーシア社

中国

堀場儀器（上海）有限公司
HORIBA C-CUBE

Americas
北米・南米

アメリカ

ホリバニュージャージー
オプティカルスペクトロスコピーセンター

ホリバ・インスツルメンツ社

ブラジル

ホリバ・ブラジル社

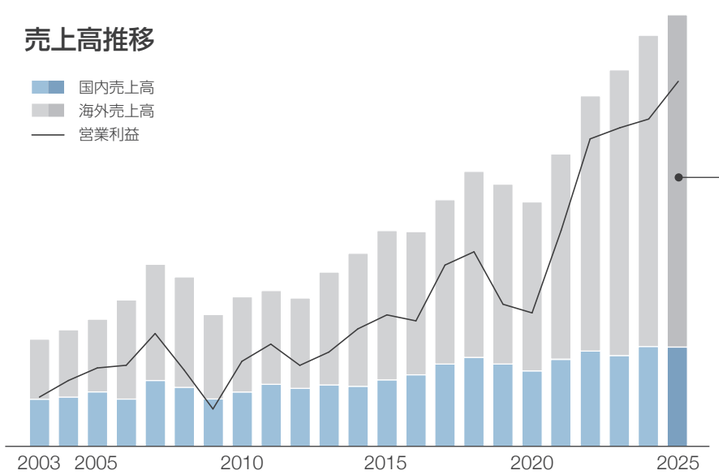
世界29の国と地域で
47グループ会社を展開

会社概要（2025年12月31日現在）

本　　社	〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地
代 表 者	代表取締役会長兼グループCEO 堀場 厚
創　　業	1945年10月17日
設　　立	1953年1月26日
売 上 高	3,330億8千1百万円（連結）※
資 本 金	120億1千1百万円（連結）
従業員数	9,101名（連結）

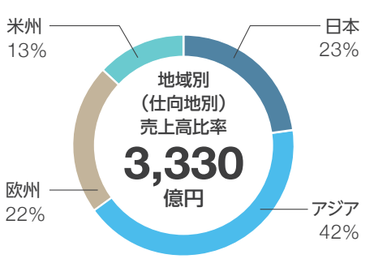
※2025年12月期

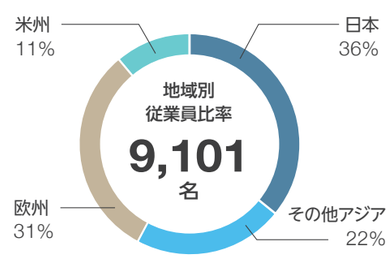
売上高推移



2025年実績

売上高	国内売上高	海外売上高	営業利益
3,330億円	766億円	2,564億円	530億円





（2025年12月31日現在）

HORIBA製品ユーザー様の声をご紹介

Forefront of Technology

HORIBAウェブサイトに連載中の「Forefront of Technology」では、私たちが注力する3つの分野「エネルギー・環境」「バイオ・ヘルスケア」「先端材料・半導体」をはじめ、最先端の技術分野で活躍するユーザー様の声を紹介しています。
日々、新たな技術開発に挑んでおられるユーザー様のご研究に、HORIBAの製品や分析・計測技術がどのように寄与・貢献しているかを語っていただいており、アプリケーション事例としても読みごたえあるコンテンツとなっています。